

## あ と が き

日頃から、本校の教育活動に対しまして御指導と御支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、2030年の社会と子供たちの未来を見据え、これからの学校には、一人一人の児童が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

とりわけ、変異を重ねながら感染拡大を定期的に繰り返すコロナ禍においては、「一人一台端末」等のICTを効果的に活用するなど、ウィズコロナ、ポストコロナの学びを見据えた新しい時代の教育が必要となります。

このようななか、本校においては、学校教育目標である「主体的人間の形成」を具現化するため、令和2年度から、研究主題を「探究する子供を育てる教育活動の創造」とし、問題解決的な学習を進めていく中で、学ぶ必要感や学びに向かう意欲を引き出し、より一層知りたい、考えたという推進力のある学びを実現する、「探究」を軸とした研究を推進してきました。その研究の過程で、児童の考えを学級全体で共有する方法として「ロイロノート・スクール」を活用したり、動画撮影機能を活用したりするなど、活動のねらいに応じたICTの活用方法を工夫しました。

各教科・領域の特性を踏まえた授業づくりや評価方法の工夫、教育課程の改善など、まだまだ改善の余地はありますが、3年間の研究のまとめとして一旦整理し、発信いたします。

また、本年度は、教育研究大会をオンラインで2週連続で実施するとともに、研究紀要や授業の資料をWebページからダウンロードできるようにするなど、各学校や先生方一人一人の勤務実態に応じ、距離と時間を超えて本校の研究成果を活用していただけるよう工夫しています。

今後も、教育研究校、教育実習校、教育実践校としての果たすべき使命と役割を自覚し、「附属小学校の研究や実践を全校で共有しました。」と多くの方に言っていただくことができるよう、研究の推進と実践に努めて参りますので、御支援と御協力、御批正と御指導をよろしく願い申し上げます。

終わりに、研究の推進に当たりましては、北海道教育庁上川教育局並びに旭川市教育委員会をはじめ、関係各位に御指導と御助言をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

副校長 齊 藤 誠